

今月の表紙は、御存知、小池忠教の登場だ。  
久しぶりに訪れた筑波流源湖で、小池は新  
エサ「忍」を操って次々と良型ベラを取り  
込んでいく。

「よし、いいエサが出来たよ！」  
エサ作りに執念を燃やす小池の情熱は、冬  
の寒さをものともしない…。



## 8 特集 メーターSETを極める。

自分のスタイルを貫け!  
野田幸手園で達人2人のスーパー技術を大検証!!  
中島 上 × 吉田康雄

## 178 特集Ⅱ 真冬だって三島湖!

爆釣だって夢じゃない!?  
伊藤洋一が教える必釣ポイント&釣り方。

### ★野の風景

- 18 田貫湖(静岡県富士宮市)
- 20 円良田湖(埼玉県寄居町)
- 22 新連載 名手・石井旭舟がいく、へら鮒出会い旅… へらぶな浪漫街道  
《第三回》川越フィッシングセンター(埼玉県)
- 28 新連載 スーパーアングラー小池忠教のエサ合わせ大全  
《Vol.3》厳寒期の筑波流源湖。浅ダナウドセットで釣りまくる!
- 36 新連載 大型狙いの楽釣宣言! 山内研作&生井澤 聰  
《第3回》横利根川・網外(千葉・茨城県) &長島新堀(千葉県佐原市)
- 42 棚網 久の対決mode 1, 2, 3!  
《Battle.24》真冬の桃源境でガチンコバトル!  
challenger:上田友広 tournamenter:河村大輔
- 118 新連載 竹は生きている  
③竹は人類の鏡
- 120 新連載 田辺哲男の「それってどーゆーことよ!?」  
《Vol.3》クマちゃんの『ペアロー釣法』!  
管理釣り場・将監(千葉県印旛郡栄町) ゲスト 熊谷 充
- 124 新連載 西日本川釣り紀行 北川穂積  
《第3回》幸田川(岡山県)
- 128 上州屋グループへら鮒用品充実店紹介  
《第28回》上州屋米沢店(山形県米沢市)
- 130 新連載 頑固一徹! 自分の釣りを貫き通す男  
《今月の釣り人》一年中、中通しの釣りを通す男 尾方次夫さん
- 132 釣りクラブ見参!  
関東竿つん会 清久大池(埼玉県久喜市)
- 134 熱血釣り女・吉川ひとみがいく!「へらってヤバイわっ!!」  
《第9回》「ロングロッド初挑戦。段底でビッグワンを狙え!!」  
GUEST:小林恭之さん 羽生吉沼(埼玉県羽生市)
- 140,148 列島縦断 旅するカメラ  
《千葉県30》鋸南町~富山町周辺 田子のセキほか
- 186 新連載 杉山達也のSPLASH BEAT II  
《Vol.3》長竿乱舞の鬼東沼新春大会!
- 192 フィッシングレディ  
《今月のレディ》中井まどかさん 筑波流源湖(茨城県八千代町)

## 50 新連載 電話で突撃!! 関東近辺釣り場情報

### ★エリアレポート

- |                |      |
|----------------|------|
| 54 四ヶ所の新堀(福岡県) | 河口正伸 |
| 56 木場潟(石川県)    | 山本一朗 |
| 57 当麻池(奈良県)    | 前田誠志 |
| 58 ひだ池(愛知県)    | 後藤 誠 |

61 江成公隆のトーナメント、復活への道。  
佐原水郷が生んだ奇才・北城 錦登場!!  
《Vol.9》北城 錦の底釣りゼミ③ in中島屋(?)

66 ガツツ小林が攻めまくる 若さとファイトの激釣記  
《第8回》小山フィッシングセンター(栃木県小山市)

70 新連載 人間カーナビ稻毛利夫の実釣! 釣り歩き  
《第3回》岩瀬町の野池(茨城県)

74 新連載 GOZYUKKAMI TREASURE HUNTER アマヤン 天野正由  
(その3)それそれこだわり ピン沼川・秋川FC、みのわだ湖・相模川・猿ヶ島

80 水辺のプラネタリウム 吉本亞土  
《今月の星空》会長逝去

85 新連載 元気が出るへら鮒 西田美明  
《第3回》「なるようになるさ」の巻 小皿池

90 新連載 最狂へラ戦士養成所“鮒の穴” 高橋謙司  
《第二話》「初指令、下る!!」

### 野田幸手園新聞

98 新連載 本誌イケイケ編集長が斬る! 業界のタブーに迫る!!  
《第3回》どうしたらインストラクターになれるのか?①

102 新連載 荘野諒爾 へら鮒釣り 何でも相談室  
《第3回》冬の釣りの悩みを説明かず

### 106 ワクワク管理釣り場情報

### 110 小売店情報

146 新連載 旅するカメラ 取材番外 思い出話  
《第3回》急がば回れ、100km近くも遠回り

149 竹、合成竿を使用した 未開の釣り場 釣行記  
《その11》高岡の池(千葉県下総町) &横利根川の岡釣り

156 好きです! へら鮒釣り! 松戸 健  
《人物往来45》石丸 隆さん

158 投稿 斎藤一之氏を追悼して 小山年男さん

160 NHC(日本へらクラブ)会員募集

### ★へら鮒BOX

- |                      |
|----------------------|
| 161 新連載 里ちゃんの新米編集長雑記 |
| 162 情報地獄ミミ           |
| 164 ボイス              |
| 169 新連載 新人モロちゃん奮闘記   |
| 170 新連載 わが輩はへら鮒である   |
| 171 プレゼント発表          |
| 172 釣果予想クイズ          |

- |          |
|----------|
| 175 広告索引 |
| 176 編集後記 |

\*「セッキーのちょっと一息」は筆者が急病のため、しばらく休ませていただきます。

この物語は、  
栄光、そして挫折を味わい、  
今、再び這い上がろうとする一人の男の人間ドラマである。

# 江成公隆の トーナメントー、 復活への道。

text and photo by Kimitaka Enari and Satoshi Tanaka  
美界初、Web運動企画！ URL http://hesar.yokohamatsurumi.net

捷破りの3回目に突入した「北城 錦の底釣りゼミ」。

先月行われた補足取材を通過し、

その内容は果てしなく掘り下げられていく…。

ひとつのテーマを、

これほどまでに何ヶ月にも渡って追究していった記事が、

かつて存在しただろうか？

しかも、まだまだ通過点に過ぎないのである…。

今月もまた、

長い前フリから始まる♡

こんなことが許されていいのかよ…！ by 里ちん

佐原水郷が生んだ奇才・北城 錦登場!!

〈Vol.9〉 北城 錦の底釣りゼミ③ in中島屋 (!?)

## ☆ハッピーバースデイ

一月の末に、息子が2歳の誕生日を迎える。ひとりで座る事も出来ず、ただひたすらボケッとしているか泣いているかというところから始まり、やがてハイハイをするようになり、さらに二足歩行へと進化を続けて来た。はじめて口にした言葉は何だったろう。「かつか」と「とつと」では、「とつと」の方が先だったような気はするが、ちょっとと思い出せない。

日々成長していく息子の姿に、感動とともに生命の不思議さも覚える。

まだ二年しかない歴史だが、ハイハイ意味不明な音を発したあの頃の彼にはもう会えないと思うと少々寂しい。と、おもいきり親馬鹿を露呈してみる。

子供の顔を見れば疲れが吹き飛び、よく言われる。全くその通りだと思うが、親も人間。ブルーな時もあるわけで、そんな時は「幸せ」よりも「責任」の方を強く意識させられるものだ。愛する我が子の顔を見ながら親としての責任を考える時、本気で「ここから逃げ出したい」と思う親はそうはないと思う。ニュースになるようなケースは氷山の一角ではなく稀である、と信じたい。自分の場合は「明日も会社に行くしかねえな」と思うだけだ。

この御時世に何を贅沢な事を言つてゐるかと怒られてしまうかも知れないが、今生きている環境への有り難みや満足感というものを、人間は長期間維持出来ない生き物だと思う。失業して半年経つてやっと決まった就職、最初にもらったサラリーの感動を、今は全く思い出せない。ひととおりの事を経験して業務がマンネリ化した現在でも、自分なりにはきちつと仕事をしているつもりではいる。しかしこれでは会社から見れば、与

えられた仕事しかやらないダメ社員と映るだろう。リストラ候補だ。

会社は「時間の切り売り社員は要らない」という。「仕事にやりがいを見出せない社員は要らない」と。

自分としては業務内容に社会的意義を見い出すことは難しいとは思つていなし、誰かがやらねばならない職種であるとも思つている。「この仕事をしていて良かった」という充実感を覚え事さえ、たまにはある程だ。しかし恒常に「やりがい」を感じながら仕事をするということは、自分にとってはかなり難しいと感じる。「常に問題意識を持ち、経営者になつたつもりで業務に励むように」というような事も、どこか会社でも言われていると思う。

これが出来るくらいならとっくに出世か独立かしている筈だが、実力も運も人脈も全て絡み合つての結果だから、なかなか思い通りにはならないのが現実だろう。自分にとつては情熱があつたとしても、それだけのスキルを持ち合わせていないので、絡み合う以前の問題だ。力がないから雇われの身であるという立場を受け入れている訳だから、会社の言う事を黙つて聞くしかないのであり、本来文句を言える立場ではない事は分かつてはいるのだが。

こんな時いつも思い出すのは、子供の頃に親父がよく言つていた「心が燃える仕事に就きなさい。お金は後からついてくるから」という言葉である。「勉強しろ」と言わなかつた親父の口癖だったこの言葉を、子供の頃は素直に聞いていた。やがて社会に出ると、そんなものには一握りの人間しかなれないという事を思い知られる。実際に「心が燃える仕事」を見つけられる人は少ないし、見つけられても「金にならない」事の方が多いという現

実が待ち受けている。もっとも子供の頃でもそれにはうすうす感付いてはいたのだが、自分は一握りの勝ち組に入れるものだと、なぜだか信じて疑わなかつた。

動物ではなく人間として生きて行くには、ズトイ何かが一本欲しい。

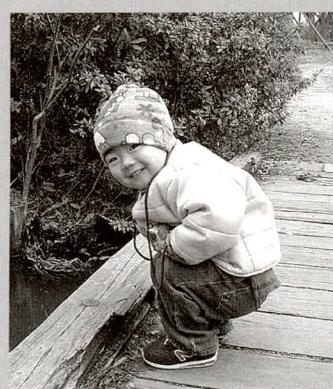
しかしこれは、実はもの凄いエネルギーを消費する作業である。自分には死ぬまで続けられる自信はなかった…。

幸いな事に自分は、「へら鮎釣り」という「心が燃える趣味」と巡り合う事が出来た。仕事ではないので金にはならないが…。

やがて来る反抗期での反発は必至だが、息子に対し今は親父と同じ事を思ふ。昨晩も息子の寝顔を見ながら、「心が燃える仕事に就け」と心中で呟いた。自分がいた。

もちろん「なるべくなら金になるやつでな」と付け加えるのは忘れないが、息子に對し今は親父と同じ事を思ふ。昨晩も息子の寝顔を見ながら、「心が燃える仕事に就け」と心中で呟いた。

(江成)



# 北城 錦の底釣りゼミ③



## 仕掛けのトータルバランス。

北：「魚の都合を優先させる事から考えるトータルにバランスのとれたセッティング」。これについてはまだ説明していなかつたね。ゴメン。江成君が好きそうなテーマなのに（笑）。俺の場合、出発点はまずエサから。これは魚に一番近い側から考えていくという事だ。「吸い込みやすいエサってなんだろう」という事から始まる。吸い込む前にへらはサワリでているので、例えば冬の話ならば弱いサワリでも動くエサという所から始めたい。口に入れると前から選別はあるんだからね。

動的に引き出されるような事ばかりだ。  
ここでグルテンについて少し触れておこう。  
冬の底釣りにおいては、メインターゲットとして新べらの存在は欠かせない。新べらにグルテンが有効なのは誰でも知っているけど、これはグルテンそのものの特性が新べらの食い方と見事にマッチしているからに他ならない。エサ慣れしていない新べらはスバッと吸い込まないからね。モグモグ、ズズズつて感じで、くわえている時間も長いし。まだ警戒心が薄く、瞬間に吐き出すという行為を想定しないのかもしれないね。このために新べらのアタリは小さいと言われるわけだ。弱い吸い込みに対して、水流に乗つて良く動く軽いエサ。しかも繊維がハリまで連れて来る。まさにベストマッチだ。  
分かってると思うけど…、グルテンが好物ということではないから（笑）。

図6 <ひびきの井戸田川一帯>



図7 「うわさ」の年々耳鳴り-80年代

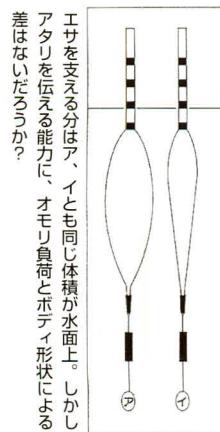


図8 〈へら鮎91年2月号P.180より〉  
小さな風船と大きな飛行船は共にバランス状態。小さな力で動くのはどちらか。  
これには物体の質量が関係してくる。  
つまりこれが「慣性」

\*江成注：氏が作る実戦向きのペラウキ「にしき」：抜群。マジで。僕も自作の前は使わせてもらっていました。好評

※先月のラストに掲載した図6、7、8ですが、今月の内容にも重複するので再び掲載しておきましょう。

また、先月、図8が図5になっていました。思いつきり単純ミスです。お詫びして訂正します！（里）

## 底釣りでのハリス段差の意味。



江：完全底釣りで、段差をかなり広くとつて釣っている人をたまに見かけますが、あれは何で

しょう？あまり教科書に載ってないんですね

ど…。

北：完全底釣りでの段差幅は、セットの感覚で言えば、宙とは少し違う。底に着いているため

にバラケの拡散範囲は小さいし、水深とウワズ

リ対策を考えて一般的にあまり開く素材でバラ

ケを組み立てないね。このため、いわゆる距離感もあまり気にならない。

それでも段差を広く取る場合、ズラシと同じ効果を狙っている。タナそのものをズラさないで、上バリの深めのナジミ幅でリズムを取りたい人が多用する手だ。でもあまり長いと下ハリスのテンションは限りなくゼロに近付き、たるみ過ぎれば最悪の場合アタリを失うからほどほどに。細いムクトップのウキで、上がりのストロークを利用して下ハリスをなんとか張らせるんだという人もいるね。

共工サの時は、段差はほとんどなくてもいい。だいたい、宙だって段差は別になくなつたついんだよ。両工サがぶら下がつたために、へらの幅（体高）の分（メインのへらの型に合わせる）だけ開けるとか言う人もいるけど。底でもちょっと上にいるへらを追わせたいとか、宙釣り的な要素で段差を付ける人もいる。共工サならどちらに興味を持つてもおかしくないんで、どちらで引つ張ってもいいけど。セッタならへらのタナをコントロールするのは上のバラケ（上のハリス）なんだし、本当に追わせるゾーンをちゃんと広げるつもりなら、上ハリスを（＝両バリとも）伸ばさないと意味がないよ。オモリの位置が変わなければ、下バリがナジみ切る前に底に着いちやうんだからね。ハリスの長さを活かし切れないよ。それでもアタリの差がはつきり出るので面白いかも

しれないけど（笑）。

江：ということは、底釣りにおいてはあんまり段差は気にしなくていいという事ですね？

北：そう。なくともいいけどエサが付けづらいから…、なんてね。

江：でも3センチなんてのでも十分釣れるってのは、そういう事ですよね。

北：その人にとつてどれ位ズラすのが基準かって事なんじゃないかな。大きくズラす人なら、あまり段差を取つておくと下バリはズレ過ぎるからね。釣りのリズムの話だね。ちなみに俺は5センチが基本。ありふれた長さでごめん（笑）。

江：とんでもないです。ものすごく勉強になります。

北：江成君なんか「底釣りでのセット的な要素での段差」という話に興味がありそうだよね。ここでバラケの拡散範囲についてもう少し考えてみよう。

底に付いているために、バラケの拡散範囲は小さいけど、それはその一投での話。あまり開く素材でバラケを組み立てないとはいって、底にはそれまで打つていたエサが常に広がっているわけだから、江成君のいつも言う「遠巻き」も「距離」もないよね。広がったエサの粒子の上で（バラケの拡散範囲の中）常に釣る事になるわけだから。宙での感覚は通用しない事になつちゃうね。

江：いえ、つながっていると思いますよ。その一投以前から底に広がっているバラケの粒子は、宙でいうバラケの拡散範囲の内側状態と同じだと捉える事が出来ないですか？底釣りは

高活性のへらをターゲットにするという事でしたよね。宙で言えば、高活性のへらならバラケの拡散範囲の内側に入つて来つてもおかしくはないんです。もちろん底のへらだって渋る時もあるわけですが、活性にかかわらず常にその一投以前から底に広がっているバラケの粒子の上で釣れる説明としては、ベースになる活性が宙とは違うという事でいいんじゃないでしょうか？

北：出たな！ えな理論（笑）。どうしても宙

と底を繋げて考えたいんだねえ、まあ別に問題ないんだから感じてるんだろうね（笑）。

江：といふことは、底釣りにおいてはあんまり段差は気にしなくていいという事ですね？

北：そう。なくともいいけどエサが付けづらいから…、なんてね。

江：でも3センチなんてのでも十分釣れるってのは、そういう事ですよね。

北：その人にとつてどれ位ズラすのが基準かって事なんじゃないかな。大きくズラす人なら、あまり段差を取つておくと下バリはズレ過ぎるからね。釣りのリズムの話だね。ちなみに俺は5センチが基本。ありふれた長さでごめん（笑）。

江：とんでもないです。ものすごく勉強になります。

北：江成君なんか「底釣りでのセット的な要素での段差」という話に興味がありそうだよね。ここでバラケの拡散範囲についてもう少し考えてみよう。

底に付いているために、バラケの拡散範囲は小さいけど、それはその一投での話。あまり開く素材でバラケを組み立てないとはいって、底にはそれまで打つていたエサが常に広がっているわけだから、江成君のいつも言う「遠巻き」も「距離」もないよね。広がったエサの粒子の上で（バラケの拡散範囲の中）常に釣る事になるわけだから。宙での感覚は通用しない事になつちゃうね。

江：いえ、つながっていると思いますよ。その一投以前から底に広がっているバラケの粒子は、宙でいうバラケの拡散範囲の内側状態と同じだと捉える事が出来ないですか？底釣りは

高活性のへらをターゲットにするという事でしたよね。宙で言えば、高活性のへらならバラケの拡散範囲の内側に入つて来つてもおかしくはないんです。もちろん底のへらだって渋る時もあるわけですが、活性にかかわらず常にその一投以前から底に広がっているバラケの粒子の上で釣れる説明としては、ベースになる活性が宙とは違うという事でいいんじゃないでしょうか？

北：出たな！ えな理論（笑）。どうしても宙

と底を繋げて考えたいんだねえ、まあ別に問題ないんだから感じてるんだろうね（笑）。

江：いやあだいぶ頭がスッキリして来ました。短バリスだとズラし過ぎるとオモリが底に付いたやうんで（笑）あまりズラせませんが、ズラしてもアタリがテカいでしょ。アタリが大きいという事はもちろん、ズラしても結構ナジンです。実際そうでした。これは理由は分かりますよ。ハリスが短いために、たわみが出にくんです。ズラしてもハリスが突つ張つてるんですね。だから戻りも甘い。正解ですかね？

江：いいでしょ。だったら底釣りでのハリスの長さはどう決まるのか、もう分かるでしょ？

北：いいでしょ。だつたら底釣りでのハリス

の長さはどう決まるのか、もう分かるでしょ？

江：底付近のへらを追わせるためだけの必要最

江：いいでしょ。だつたら底釣りでのハリスの長さはどう決まるのか、もう分かるでしょ？

北：いいでしょ。だつたら底釣りでのハリスの長さはどう決まるのか、もう分かるでしょ？

江：底付近のへらを追わせるためだけの必要最

低限のタメと、スラしてたわむための最低限のしなやかさを確保出来る長さが、底釣りのハリス長のキモです！

北：良く出来ました（笑）。つまりそれが江成君みたいな極端に短いハリスではなく（笑）、深宙のように長くもない中途半端な長さになる理由だね。底釣りではあまりハリス長で冒険してる人が少ない理由だ。

江：誉めてもらつたのに、後戻りするような質問をさせて下さい。水深が50㌢位のごく浅い場所で底釣りをするとします。へうに宙の魚も底の魚もないと思うんですよ。こんなに浅ければ、群れは「つじやない」のでしょうか？ 宙のへうを落ちつけて釣る事になりませんか？

北：群れが一つかどうかは分からぬいけど、そうだとしたって群れの中での固体差で説明出来るでしょ。その群れの中で底を向くへうを相手にする釣りイコールそれが底釣りって事でいいんじゃない？ だいたい宙も底もないって言うけど、江成君は宙で食う事が前提で喋つてるじゃない。

ここで経験をひとつ。こういうポイントは宙じゃ口を使わないよ。浅場にエサを食いに来るへうは、底のエサを拾う。浅場つてのがそういう場所なんだよ。エサが落ちてる所なの。だから99パーセント「底の」へう。全体が深い池ながら別だけど。

江：し、失礼しましたあ！

## 底釣りでのカラツンとは？

「吐き出しカラツン」とか「カラツンが少ない」って言葉を出したんだけど、ちょっと気になつてたんだ。最初の江成君的な論法でいくと、底がへうにとって食べやすいタナだというところが出発点ならば、吐き出しだって宙よりもっとコントローラブル、という事になるはず。「吐き出しやすい」ってことだよね。それなら底釣りはカラツンが多いという結果になるんじゃないか？ と。でも一般的には宙に比べればカラツンが少ないと言われている。ここでカラツンと呼ばれているものを整理してみようよ。

江：カラツンですか？ そうですね、ハリを吸い込んだ時にアワせる時には口から出ちゃうというのが本当のカラブリですね。むしかすると見逃したらもう一回吐き出した時のアタリが出るのかも知りませんね。これはタイミングの問題なんで、釣りは合つてますから、気にしません。本当にそういうカラツンかどうかは見えないので分かりませんけど。

あと同じ事ですけど、吸い込んだアタリが出ないか見逃すかして、吐き出した時の動きでアワせている場合。さっきは気にしないと言いましたが、口に長く含んでくれるエサという事を考えるヒントもあります。

他には、口に入れないけどエサに触ったアタリですかね。大槻で言えばこれはスレですね（笑）。あと完全なスレアタリ。あ、スレアタリはカラツンに含めちゃダメですね（笑）。

北：うん、そんなところかな？ もちろんスレアタリは除外。そうすると、「カラツン」とは全て、一度ハリを吸い込んだものの「カラブリ」ということでいいかな。だから「エサが持っていないカラツン」というのもナシね。その中で、「アワせた瞬間に口からハリが出てしまう」と「口からハリが出てしゃった時の動きをアワせる」のがあるわけだ。さらに「出しゃった動きをアワせる」の中でも、「アワすべきアタリが出ていないケース」と「見逃したケース」があるというわけだね。ちなみに俺の解説では「吐き出しカラツン」とは「アワせた瞬間に口からハリが出ちゃう」だけなんだけど。

江：なるほど、そうでしょうね。

北：じゃ、やっぱり底釣りはカラツンが少ないとるのは正しいよ。なぜなら、「アワすべきアタリが出ていないケース」は、完全底釣りではそうそうありえないから。「戻りが出てから釣り」というリズムは、ハリスが張つていな落ち込み段階のタイミングでのアタリは一切取らないわけだから、「口からハリが出てしゃつた動きをアワせる」前に、必ずエサ（ハリ）を吸い込んだアタリが出てるはずなんだね。もちろん、ハリスのたるみが大き過ぎれば（スラし過ぎれば）可能性はあるし、落ち込みからずつとくわえられていたら別だけど。

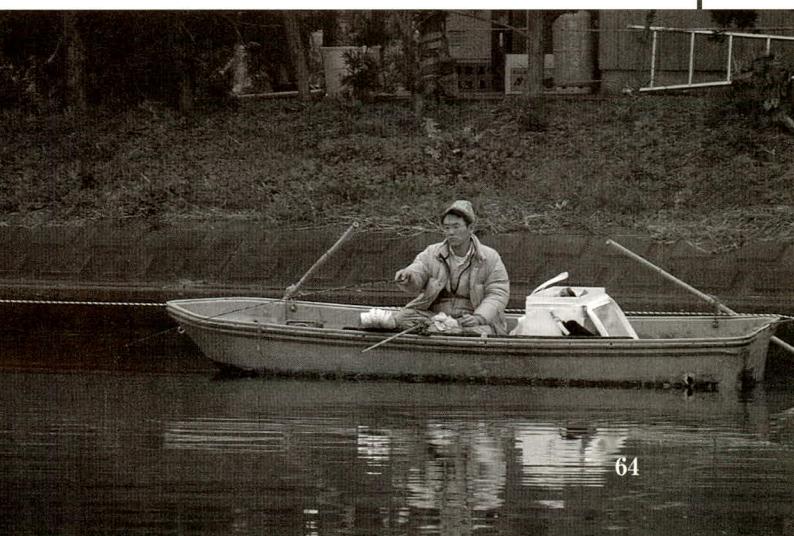
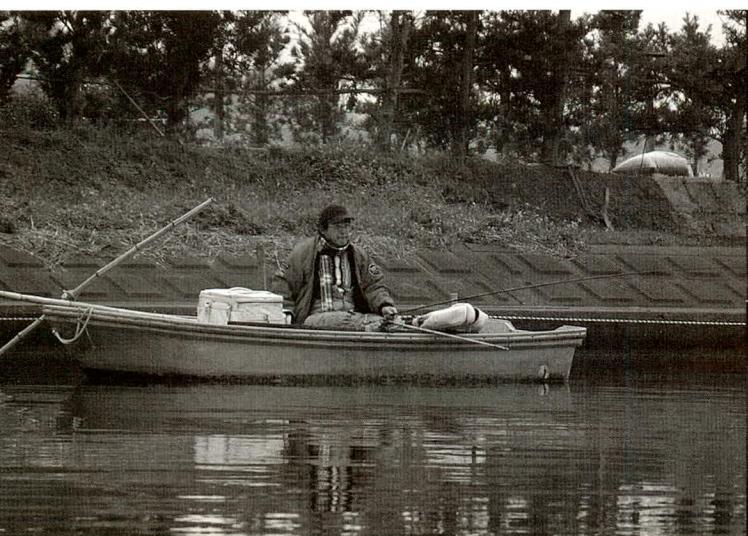
また、「エサが持つていらない」と感じる時は落途中でくわえられている事からの吐き出しを疑うけれど、アタリとして見れるわけじゃない。「アワすべきアタリが出ていないケース」というのは、宙でならアタリを取るタイミングを考えれば十分ありえる事だけね。

つまり底釣りにおいては出るカラツンの種類が宙よりも絞り込まれたという時点で、すでにヒット率は高まつたと言えるんだね。

「カラツンが少ない釣りである」という事は、逆に、あまりにカラツンが続くと何かがおかしいという事になる。宙よりは我慢してはいけないサインなんだね。とはいっても、いろんなへうがいるから。一つの群れの中でも固体差はあるんだし。だから、一発二発じや必要経費だと捉えよう。へう釣りに「完璧」はあり得ない。



▲ほとんど時間をインタビューで費やしてしまった補足取材時、つかの間の釣りを楽しむ北城錦（右）と江成公隆



# 釣番付

## 料金表

50名まで	55,000円
51名～75名	60,000円
76名～100名	65,000円
101名～125名	70,000円
126名～150名	75,000円
151名～175名	80,000円
176名～200名	85,000円

- ・仕上がりは黒一色です
- ・人数は成績表部分のみ数えます

## 書体見本

- 1.ぐりへあ鮎会
- 2.ぐりへあ鮎会
- 3.ぐりへら鮎会

- ・番付をインターネットで公開できます（無料）

お問い合わせご注文はお早めに！

取扱店：柴舟 03-3613-2727

## ウキや小物の銘入れに

### 転写シール

初回注文黒一色、300銘で8,500円～  
2回目以降同じものをご注文の場合は3,500円～

- ・8書体、8色を御用意しています
- ・角印も作れます

取扱店：

柴舟（東京都江東区）

03-3613-2727

佐伯釣具店（神奈川県川崎市）

044-911-3722

SANSUI川づり館（東京都渋谷区）

03-3499-5025

フィッシング中原（神奈川県川崎市）

044-711-8266

鮎仙人（神奈川県川崎市）

044-287-7470

お問い合わせ、ご注文は各取扱店  
または下記HPまでどうぞ

office27  
ひとりえぐり

<http://www.office27.com>  
E-mail:info@office27.com

## 食べ上げアタリが教えてくれること。

北：「食べ上げ」と呼ばれるアタリがあるね。これはどういう時に出るんだつけ（笑）？

江：いやー懐かしいですねえ。僕が以前に質問した時の事を笑ってるんですね？あの頃は何も分かってませんでしたよ。もちろん今でもすけど。確か「ボディが出るまで待つんですか？」って聞いたんでしたっけ（笑）？

北：いやあ、あの時はピックリしたよ。北斗に入会して来るような奴にこんな質問される思わなかつたからね。でも、時代を感じたよ。今のはホントに宙から覚えるんだなあってね。

江：もうそれくらいで勘弁して下さい（笑）。

北：食べ上げと呼ばれるアタリがあるね。これについてはもう完全に食つちゃった

したもの）より下が見えたり、ボディが出るやつはどんな感じ？

江：まだあ！これはもう食べ上げというよりも「くわえ上げ」ですね。もう完全に食つちゃつてます。ベタベタからでも出ます（笑）。

北：俺的には「食べ逃げ」だね（笑）。まあ冗談はともかく、食べ上げとはテンションがなくなるアタリなんだ。当然吸い込んだ瞬間もなくは動かなくちゃいけないんだけど、吸い込む力が小さ過ぎて出ていないか、見逃しているんだ。これはへらがエサを食う向きがオモリを動かす方向じゃないだけで、もししかしたらちゃんとそれなりの力で吸つってるのかもしないけどね。それでくわえたまま頭を持ち上げた時にテンションがとれるんだね。ここで首を振れば大きなアタリになっちゃうけど、ケースバイケース。例外もあるからね。

食べ上げのメカニズムですが、ウキにかかっているテンションが消えるという状態ですから、逆に、まずは仕掛けが張っていないと出ません。ラジシの幅で言うのは難しいんですけど、いわゆる「ベタベタ」からでは最初から戻しきっている状態なので出ません。ですから、そこに張っている状態から出るって事ですかね。

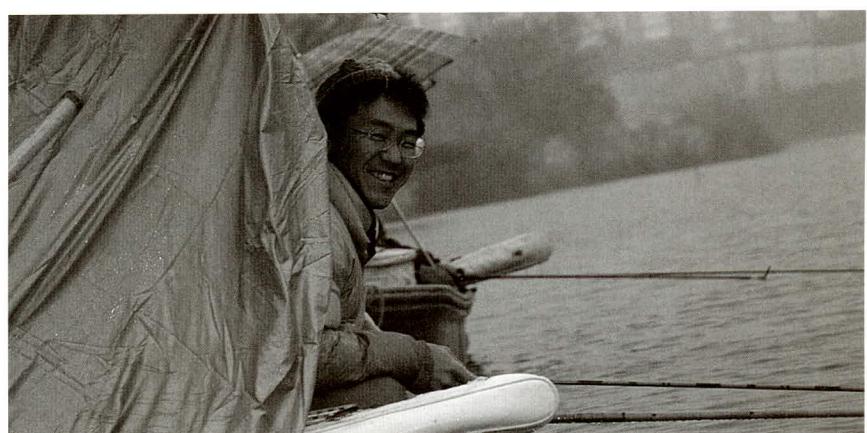
食べ上げのメカニズムですが、ウキにかかっているテンションが消えるという状態ですから、逆に、まずは仕掛けが張っていないと出ません。ラジシの幅で言うのは難しいんですけど、いわゆる「ベタベタ」からでは最初から戻しきっている状態なので出ません。ですから、そこに張っている状態から出るって事ですかね。

北：そうだね。じゃあ、底でのエサ落ち目盛（宙のエサ落ちバランスからハリの重さを考慮

したもの）より下が見えたり、ボディが出るやつはならないから、連続して食べ上げばかりじゃマズイんだ。さっき否定した「アワすべきアタリが出ていないケース」になつてしまふ。だいたい、全てのへらが吐き出さずにくわえ続けられてくるわけもないしね。安心して使うタナの目安は「たまに」食べ上げが出るタナだつて最初に言つたけど、へらと人とのギリギリの駆け引きという部分では、どちらかというと釣り人側の都合に寄つている言葉だったね。江：なるほど。でもなかなか手が出ないんですよね。北城さんは自信を持ってアワせてるんでしょうけど。

北：いいいや、俺だつて聞きアワセだよ。程度の早さと力強さが判断の目安にはなるけど、慣れだね。ただ、「アタつたみたいなんだけど小さ過ぎて手が出なかつた直後の食べ上げ」ってのは手が出るよね。アレッと思つた後は要注意。というより、出ている食べ上げアタリの中でも、アレッと思つた後の食べ上げがメインじゃないとまずいんだね。セッティングを再考するタイミングというわけ。

〈以下、次号に続く〉



へら鮒釣りの楽しさを追究し続ける…

# 特集 メタセツトを極める。

**自分のスタイルを貫け！**  
**野田幸手園で達人2人のスーパー・テクを大検証!!**

中島士×吉田慶雄

**好評連載中！**

# 小池忠教の エサ合わせ大全

The image shows two large, bold red Chinese characters on a white background. The character on the left is '心' (xīn), meaning 'heart'. The character on the right is '想' (xiǎng), meaning 'to think' or 'want'. Both characters are written in a thick, expressive brushstroke style.

# Monthly fishing magazine herabuna

No.447  
Mar.2003 3

特集

**爆釣だって夢じゃない!?**  
**伊藤洋一が教える必釣ポイント&釣り方。**

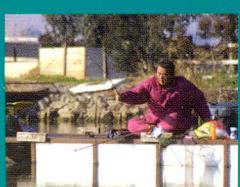
**真冬だって三島湖！**

釣り堀、管理釣り場、野釣り場を網羅！「へら鮒」を読んで寒い冬を乗り切ろう!!

石井旭舟/杉山達也/吉川ひとみ/山内研作&生井澤聰

**田辺哲男/小林恭之/稻毛利夫/北川穂積/西田美明**

江成公隆/北城錦/天野正由/吉本亜土/高橋謙司



**厳寒期の筑波流源湖で釣りまくる！**

# 小池イズム、炸裂!!



# 冬の信赖感 100%の わたぐる品質。

**ふわっと軽く、しっかりハリ持ち。  
吸い込みやすさもメリットです。**

2月。へらが口を使わなくなる、最も厳しい季節です。こんな時期に頼りになるくわせが、グルテンエサ「わたのグル」。強いグルテン繊維がマッシュの抜けを抑えながらしっかりとハリに残るので、じっくり待てて誘いがきく。わたしのように軽く、水中で“ふわっ”とふくらむので吸い込みやすく、繊維がハリのフトコロから抜け落ちず、しっかりと絡みついているからカラツンも少ないのです。

段差の底釣りや長竿の深宙釣りに、そして準山上湖など、グルテンエサが効果的な場面でさらに威力を発揮する「わたるグル」。超低活性時でもアタリを見せてくれる、まさに厳寒期のためのグルテンエサです。

**わたぐる** ￥400



**マルキューブースで待ってます!**

誌面でもおなじみのインストラクターが、あなたの疑問や質問にズバッと解答!  
マルキューブースでお待ちしております。気軽に声をかけてください!

国際つり博2003

**幕張メッセ(9.10.11ホール)**  
**2003年2月7日(金) 14:00~18:00**  
**8日(土)・9日(日) 9:00~17:00**

フィッティングショー  
**OSAKA2003**

インテックス大阪(6号館)  
2003年2月15日(土)・16日(日)9:00~17:00

つれるエサづくり一筋  
**マルキュー**

本社・桶川工場 埼玉県桶川市赤堀2-4 TEL363-8509  
TEL:(048)728-0909(代) FAX:(048)728-3909  
大阪支店 大阪府寝屋川市楠根南町12-14 TEL572-0811  
TEL:(072)824-0909(代) FAX:(072)825-0909

四国営業所 香川県坂出市西大浜北3-4-33 T 762-0053  
TEL : (0877) 44-0909(代) FAX : (0877) 44-3909  
九州営業所 佐賀県鳥栖市姫方町341-1 T 841-0023  
TEL : (0942) 82-0909(代) FAX : (0942) 82-0909

マルキュー・ホームページ  
<http://www.marukyu.com/>  
東山の情報満載！